

Press Release

2026 年 5 月 14 日

すべての産業の新たな姿をつくる。



オーダーメイド型 AI 開発
「カスタム AI」

株式会社 Laboro.AI

新経営執行体制への移行に関するお知らせ

株式会社 Laboro.AI

代表取締役 CEO 椎橋徹夫・代表取締役 COO 兼 CTO 藤原弘将

「カスタム AI 開発」を展開する株式会社 Laboro.AI（ラボロエーアイ、東京都中央区、代表取締役 CEO 椎橋徹夫・代表取締役 COO 兼 CTO 藤原弘将。以下、当社）は、企業価値向上に向けた変革の推進を目的に、代表取締役 CEO 椎橋を中心とした迅速な意思決定体制と、CXO 制拡充による専門的知見の活用を内容とする新経営執行体制への移行を決定いたしましたことをお知らせいたします。

新経営体制においては、従前の代表取締役間の合議による意思決定機関の代表取締役会議を廃止し、代表取締役 CEO 椎橋が当社グループ全体を統括いたします。他方、現代表取締役 COO 兼 CTO の藤原は、引き続き代表取締役 COO として業務運営の統括に加え、新事業領域創出に向けた M&A や事業投資を専門とするチームの立ち上げを指揮します。また、これまで代表取締役が担っていた一部の権限については、各領域の執行役員へと権限を委譲し、その専門性を発揮してまいります。CEO による意思決定の一元化と、各 CXO への権限委譲、各 CXO の専門性に基づく相互牽制を通じ、技術や事業環境の変化に即応可能なより強固な経営執行体制を構築してまいります。

なお、本決定は本日 2026 年 5 月 14 日開催の取締役会にて決議され、2026 年 6 月 1 日より正式に移行する予定です。



背景・目的

近年の LLM（大規模言語モデル）や AI エージェントの技術革新を背景に、AI は国家・産業の競争力を高めるための国際的な変数となりつつあります。米中を中心としたグローバル企業が AI を事業の中核に組み込み優位性を築く中、国内産業においては、個社ごとの業務文脈に AI を深く実装しきる実装力の差が、真の意味での「AI 格差（AI ディバイド）」として顕在化してきています。

実際、JUAS（一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会）が 2026 年 4 月に発表した調査^{※1}によれば、国内企業における AI を含む IT 予算配分は、現行ビジネスの維持・運営を目的とした「ランザビジネス予算」に 75.9%が配分され、ビジネスの新しい施策展開を目的とした「バリューアップ予算」は 24.1%に留まっており、さらにその比率は過去 5 年に渡って大きな変動が見られていないことが報告されています。国内産業においては、AI を活用した新規製品・サービスの創出や既存ビジネスのプロセスイノベーションなど、バリューアップ型の AI 導入に至るケースはごく一部に限られているのが実態であり、ビジネス現場に根差した AI の本格実装が重要かつ急務の経営課題となっています。

当社は、「すべての産業の新たな姿をつくる。」「テクノロジーとビジネスを、つなぐ。」をミッションに掲げ、2016 年の創業以来、一社ごとに正面から向き合うオーダーメイド型 AI 開発「カスタム AI」による産業実装を通して、ビジネス現場における AI 導入のラストワンマイルを一貫した主戦場としてまいりました。製造・建設・化学・小売をはじめとした日本の基幹産業に対して、コア業務に AI を組み込む取り組みを積み重ね、2023 年 7 月の東証グロース市場への上場後も年間 20%超の成長を維持し、100 名を超える従業員規模の拡大を続けています。また、本日発表した 2026 年 9 月期第 2 四半期（中間期）決算説明資料の通り、主力事業である「カスタム AI 開発」の飛躍的な売上成長と、M&A や事業投資といった非連続な手法を専門とする新たなチームの立ち上げを通じた新領域創出を両輪として、さらなる成長を目指しているところです。

2026 年 4 月をもって創業 10 周年を迎えた当社は、この 2026 年 9 月期下期以降の 5 年間に「第 2 の創業期」と位置づけ、蓄積された 10 年分の AI 実装力を、国内産業の AI 実装力の向上に資する産業基盤へと転換させるための変革に踏み出してまいります。今般の新経営執行体制への移行は、この変革を機動的に実行するための中核施策であり、従来の延長線上にとどまらない新領域の創出と企業価値向上を迅速かつ強力に推進し、ひいては国内産業の AI 競争力向上に貢献してまいります。

※1 JUAS（一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会）「企業 IT 動向調査報告書 2026」

https://juas.or.jp/cms/media/2026/04/JUAS_IT2026.pdf

新経営執行体制（2026 年 6 月 1 日より）

氏名	新役職名	旧役職	新役職の職務内容
椎橋 徹夫	代表取締役 CEO （最高経営責任者） ※変更なし	代表取締役 CEO （最高経営責任者）	グループ経営の統括・意思決定
藤原 弘将	代表取締役 COO （最高執行責任者）	代表取締役 COO 兼 CTO （最高執行責任者 兼 最高技術責任者）	業務運営の統括・M&A 等の事業投資

松藤 洋介	執行役員 CAO (最高アライアンス責任者) ※変更なし	執行役員 CAO (最高アライアンス責任者)	顧客企業とのアライアンス推進
和田 崇	執行役員 CBO (最高ブランディング責任者)	執行役員	全社ブランディング・コミュニケーション
吉岡 琢	執行役員 CTO (最高技術責任者)	執行役員	技術戦略の策定・R&D の牽引
谷山 太郎	執行役員 CFO (最高財務責任者)	執行役員	全社戦略・財務・ガバナンスの統括
入江 裕紀	執行役員 CHRO (最高人事責任者)	執行役員	人事・人材開発制度の策定と推進

<業務分掌変更となる各 CXO のプロフィール>

代表取締役 COO（最高執行責任者） 藤原 弘将

独立行政法人産業総合研究所（現国立研究開発法人産業技術総合研究所）にて機械学習・音声信号処理・自然言語処理の研究に従事、その間 Queen Mary University of London の客員研究員も務める。ボストン・コンサルティング・グループ、AI 系スタートアップを経て Laboro.AI を創業。

執行役員 CBO（最高ブランディング責任者） 和田 崇

KDDI 株式会社にてコンシューマ向け商品・サービスのクロスメディアによるプロモーション施策の立案・企画運営に携わったのち、全国漁業協同組合連合会にて広報に従事。2019 年に Laboro.AI に参画し、2023 年より執行役員に就任。

執行役員 CTO（最高技術責任者） 吉岡 琢

研究所や企業で機械学習による脳活動計測、人流データ分析、深層学習によるロボット制御、強化学習を用いた技術開発に従事。2019 年より Laboro.AI に参画し、2024 年より執行役員に就任。

執行役員 CFO（最高財務責任者） 谷山 太郎

ボストン・コンサルティング・グループ合同会社にて金融機関・保険会社・製造業・消費財メーカー等を中心に、全社戦略策定、新規事業立案、DX 戦略策定/推進、ビジネス・デュー・デリジェンス等のコンサルティングに従事。2023 年に Laboro.AI に参画し、2024 年より執行役員に就任。

執行役員 CHRO（最高人事責任者） 入江 裕紀

株式会社インターネットイニシアティブや株式会社マイナビで法人営業を経験後、アクセンチュア株式会社、イグニション・ポイント株式会社にて人事・人材開発に従事。2024 年に Laboro.AI に参画し、2025 年より執行役員に就任。

当社は、CEO を中心とした迅速な意思決定体制の構築、CXO 制拡充による各領域の専門性の発揮を主とした今般の体制移行により、中期経営計画の達成と企業価値の持続的向上に向けて、取締役会・経営チームが引き続き一体となって取り組んでまいります。

なお、本件は、中期経営計画の変更を伴うものではなく、また、今期業績予想に変更が生じるものではありません。本件について詳しくは、当社 HP の IR ページに掲載の適時開示文書でもご覧いただけます。

<https://laboro.ai/ir/>

参考情報

■株式会社 Laboro.AI 会社概要

会 社 名：株式会社 Laboro.AI（ラボロ エーアイ）

所 在 地：〒104-0061 東京都中央区銀座八丁目 11-1

代 表 者：代表取締役 CEO 椎橋徹夫

代表取締役 COO 兼 CTO 藤原弘将

設 立：2016 年 4 月 1 日

事業内容：機械学習を活用したオーダーメイド型 AI『カスタム AI』の開発

カスタム AI 導入のためのコンサルティング

U R L：<https://laboro.ai/>

株式会社 Laboro.AI は、「すべての産業の新たな姿をつくる。」「テクノロジーとビジネスを、つなぐ。」をミッションに掲げ、AI による新しいビジネス施策展開によって企業成長を図る「バリューアップ型 AI テーマ」に効くオーダーメイド型 AI 開発「カスタム AI」を展開する、国内有数の AI スペシャリスト集団です。

以 上

<本リリースに関するお問い合わせ>

株式会社 Laboro.AI マーケティング部 広報リーダー 東條英里 Mail：press@laboro.ai